

児童会サミット〈12.8sat〉

①現状 ②取組 ③今後、どう取り組んでいくのか

議題1「SNS等の使い方について」

- ① SNS等の使用は全体で50%位、高学年になると80%にのぼる。一部でルールを守れない児童がいるのは事実。事故にあった友達がいる。学校ルールより、家庭ルールの方がきびしくないものがある。認識のゆるい親がいる。
- ② 全校朝会でSNS宣言を学級ごとに行っている。児童会、集会で「ルールの再確認を行っている。
- ③ 再アンケート調査・結果発表～小 SNS 学校ルールの改善していく。話し合っていくことが大切だと思うから続けたい。SNSルール・ソングをつくる。等

○ 他人事ではなく、自分たち一人一人の意識を高めようと努力し続けること。

①取組 ②課題 ③今後、どう取り組んでいくのか

報告「2020年東京オリンピック・パラリンピック大会への取組」

- ① オリ・パラの選手・プロ選手等の話・体験・交流活動。日本文化（茶道・華道・書道）体験。
- ② 一部に関心が薄い人がある。高学年中心から全学年に広めること。その場限りでなく続けること。
- ③ 参加国の挨拶（言語）を覚え、実際に備える。オリパラの競技を観戦する。参加国の郷土料理を食べる。日本にいる外国の人と積極的にコミュニケーションをとっていく。等

○ 自分たちの「思い・想い」をもった東京2020オリンピック・パラリンピックにしよう！

①現状 ②どのようなまちにしていきたいのか ③そのために

議題2「10年後の立川について」

- ① 自然が少ない。交通渋滞・事故が多い。歩道が狭いところがある。ないところもある。外遊び場所が少ない。教室の雨漏りがある。ファール立川がある。モノレールが便利。たくさんの路線がある。タブレットを使って授業をしている。
- ② 「犯罪がなく福祉や環境にやさしいまち！」「誰でもスポーツができるまち！」「PC・タブレットあふれる学校！」にしたい。
- ③ 街灯をもっと多くする。広い歩道をつくる。ファール立川にかんばん（英語説明）をつくる。駅付近にグリーンを増やす。等

○ 自分たちのまちだから、まちづくりに参加から参画へ！

☆ 課題がやっと解決したと思ったら・・・また課題が出てくる・・・思考を停止せず話し合いをあきらめしないで、一人一人が考え・話し合いを続けていくこと！

生徒会サミット〈12.1sat〉

①現状 ②取組 ③今後、どう取り組んでいくのか

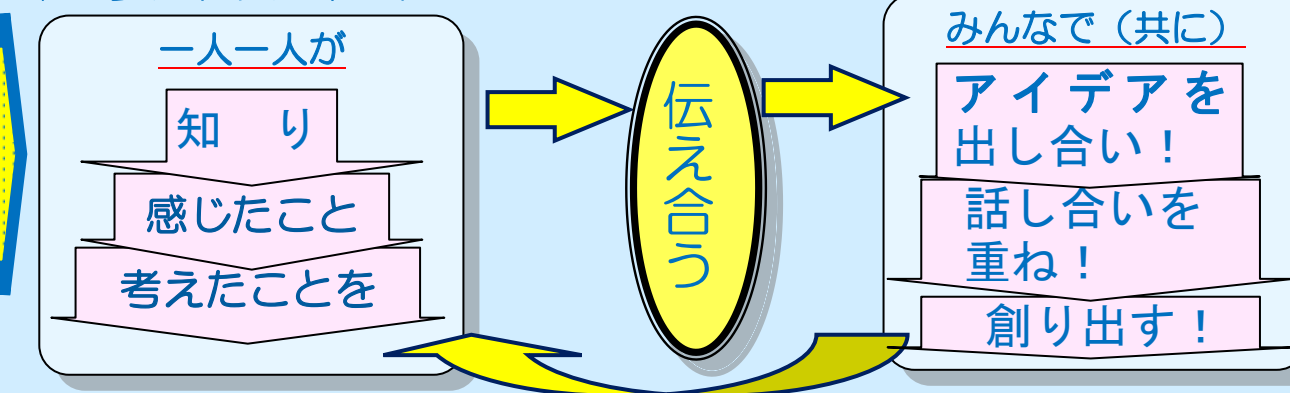
議題1「SNS等の使い方について」

- ① 動画を視聴しすぎてしまう。投稿、いじめの問題もある。SNS（ライン8割）の利用者が多い。情報格差がある。学校ルールと家庭ルールが逆になっている。
- ② 使わないよさを考え、話し合っている。再調査（使用環境、時間など）して、結果をグラフで表している。啓発ポスターをつくり掲示している。
- ③ 町内でのルールづくり。朝会での呼びかける（9時以降×、フィルタリングをする！）。一人一人が相手への思いやりの気持ちをもつ・見極める力を付ける。押し付けるのではなく意識をもつ。等

報告「2020年東京オリンピック・パラリンピック大会への取組」

- ① オリンピック・パラリンピック選手の講演・交流・体験集会、新聞・ポスターづくり、ニューカレドニアとの国際交流、調べて発表する活動、五輪音頭・三中体操。
- ② オリンピック・パラリンピックに関する知識が増えた。関心・意識が高まった。
- ③ 「一部に関心のない人がいた。積極的な関わりが弱い。まだ遠い存在。」現在の取組を継続し、その中で、気持ちを入れていく。今日の報告を生徒朝会で伝えていく。等

◇ 多文化共生社会



← ①取組 ②成果 ③課題を踏まえた今後の取組

①現状 ②理想的な姿 ③姿を変えるためのアイデア

議題2「10年度後の立川市」

- ① 昭和記念公園があり、観光の中心。5科目だけデジタル教科書。緑が少ない。駅利用客が多い。スポーツ施設が少ない。うどづくりがあまり知られていない。
- ② 昭和記念公園のよさが活かしている。全教科の教科書のデジタル化。スポーツ市になっている。うどづくりのまち。
- ③ 昭和記念公園でオリパラに関する行事を計画的に実施する。音楽や美術等専科の授業でもデジタル教科書を活用する。電子黒板を積極的に活用する。立飛アリーナでテニス大会等を定期的開催する。うどをPRする。等

立川のまちを愛し、立川のまちづくりに参画する主体的・自立的な立川市民の育成を目指して